

341 棚たなに上あげる

342 他人たにんの空そら似に

343 狸たぬき寝ね入り

344 種たねをまく

345 頼たのみの綱つな

346 駄だ目めを押おす

347 袂たもとを分わかつ

348 便たよりのないのは良よい便たより

349 血ちが通かよう

350 血ちが騒さわぐ

351 血ち眼まなこになる

352 血ちも涙なみだもない

353 茶ちや々ちやを入いれる

354 長ちやう蛇だの列れつ

355 血ち沸わき肉にく躍おどる

356 月つき夜よに提ちやう灯ちん

357 付つけ焼やき刃ば

358 旋つむ毛じを曲まげる

359 爪つめに火ひをともす

360 爪つめの垢あかほど